

涌谷町総合防災訓練に35名が参加！

涌谷町総合防災訓練に有志生徒35名(1学年11名・2学年24名)が参加しました。11/5(土)に涌谷町総務課主催、水害想定で本校体育館が会場となり行われました。参加生徒のうち30名は、10/2(土)に美里町中央コミュニティセンターで行われた養成講習会で「宮城県防災指導員」に認定された生徒です。涌谷町役場や地域の住民、自主防災組織など合計200名弱が参加しました。実際、本校は町の避難場所と避難所に指定されており、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風の際に避難場所として開設されています。

避難者誘導訓練



車や徒歩で避難してくる方を、校門や駐車場(WATS前)から、避難場所となる体育館へ誘導しました。

避難所開設訓練



感染症対策のついたて等を準備し、避難所の受付をつくりました。地域の方とともに避難者の受付をしました。

被害状況伝達訓練

(臨時災害FM放送局)



町内の被害状況を役場の方から受け取り、ラジオで被害状況を伝達しました。

段ボールベッド設置訓練



体育館前にある町の防災備蓄庫から段ボールベッドや間仕切りを取り出し、実際に作ってみました。

応急救護訓練



遠田消防署の方から心肺蘇生法や簡易担架の作り方についてレクチャーしていただきました。

NTT 災害伝言ダイヤル171体験



災害時に電話が繋がりにくくなったときに使える声の伝言板「171」を体験しました。

防災士会みやぎによる講話

防災士会みやぎで元涌谷消防署長の吉目木克彦さんから講話をいただきました。涌谷町の過去の災害等について学ぶことができました。



参加した皆さん



瀬川颯さん 久道蓮さん 木村優芽さん 菅原陽可さん 高梨ころろさん 三浦千怜さん
阿部玲央斗さん 佐藤勘匠さん 渡部裕貴さん 佐々木美優さん 松田珠菜さん
加藤拓哉さん 日下知宏さん 黒岩太輝さん 佐々木竜治さん 只野寿人さん
馬籠優人さん 佐々木結菜さん 丸谷姫空さん 渡部なつみさん 秋山泰知さん
石川力也さん 氏家真優さん 大石吏稀さん 西條杏星さん 鈴木颯汰さん 荒川愛結さん
伊藤希恵さん 熊谷瞳さん 佐々木星七さん 沼津遼さん 齋藤優太さん
佐藤琥太郎さん 大須百々香さん 千葉桃郁さん

<生徒の振り返り（一部抜粋）>

●学んだこと・気づいたこと・感じたこと

- ・ 私は入口で外靴を入れる袋を渡す係をしていました。すでに袋を持っている人もいて渡していいのか戸惑いました。転んでしまった人もいたのでイスを用意するなどもっと工夫が必要だと思いました。また、段ボールベッドを組み立てるのが大変でした。かなり力が必要で肩が痛くなりました。完成したときに2人でベッドに寝てみましたがグラグラせず頑丈でした。これからも学んでいきたいと思いました。
(1年 菅原 陽可)
- ・ 訓練に参加して地域の方と交流することができ、受付の担当で上手くできるか不安だったけどしっかりとやることができた。段ボールベッドを作るとき、結構大変な作業で思ったより力がある作業で女性だけでやるのは大変だと感じた。また、講話で涌谷町の危険な所を改めて知ることができた。地区ごとに顔見知りになっているところが良いと思いました。
(1年 高梨 ころろ)
- ・ 今回初めて涌谷で地域の方と防災訓練をして避難所運営の他にも171や応急救護や段ボールベッドの体験などをして普段学校では学べないこと学べたので良かったです。また、大体の人が1人ではなく複数で避難してきたのを見て、実際に避難所生活になったときも1人では心細いと思うので、こういう機会での地域の人との関わりは大事だなと思いました。
(2年 丸谷 姫空)
- ・ 涌谷高校が避難場所となる訓練に、地域の方々と初めて参加しました。実際避難してくる人たちは高齢者が多く、避難場所が分からない人々を誘導係の私たちがサポートすることができました。しかし、災害はいつどこで起こるか分からないし、指示を出されても緊迫した状況であるから、その中でも若い私たちが率先して動かなければならないと思いました。171や段ボールベッド、応急救護など、普段体験できないこともできたので、いざというときに実践できたらいいなと思います。
(2年 渡部 なつみ)

涌谷高校 HP 防災のページ

<https://onl.sc/akD3RVJ>



涌谷高校 HP

学校防災だより「つなぐ」バックナンバー

<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/letter>



防災担当：津守